

黎明



VOL.47

令和6年11月30日発行

東洋大学校友会
富山県支部だより



東洋大学校友会富山県支部総会 令和6年6月23日 パレブラン高志会館

ごあいさつ



富山県支部長
森川 芳一
(昭和63年法律)

日頃より富山県支部校友の皆さまには、活動への参加、運営への協力に厚く御礼申し上げます。今年も支部会報「黎明」VOL.47をお届けできますこと大変嬉しく思います。寄稿いただいた皆さん、編集に携わった広報委員会の皆さん有難うございました。

振り返ると新年に能登半島で大地震が発生しました。後輩学生の皆さんは学業多忙な中、長期にわたり多数が復興ボランティアに参加されていることを伝え聞きます。「他者のために自己を磨く」東洋大学の教育の心が実践され、卒業生の一人として大変嬉しく思うとともに感謝の気持ちでいっぱいです。

さて一般社団法人東洋大学校友会は、神田雄一会長が改選にて再選され、「新しい時代の魅力ある校友ソサエティの実現」に向けて改革に取り組んでおられます。然しながら創立130年の校友会ですが、近年の大学との距離感による財務の脆弱化から運営がさらに厳しくなっております。校友会は母校を愛する私たち校友の心の拠りどころであり、大学との信頼関係回復は最も大切なことです。私も北陸甲信越ブロックより選出された理事として課題解決に役割を果たしてまいります。

前年に続き富山県支部は、支部支援会費のお願いをいたしましたところ、多数の皆さまよりご厚意を頂きました。会報発刊などの自主活動の維持と、来たる支部90周年へ向けての運営を行ってまいります。純粋に母校を想う心の集まりが富山県支部です。まだ見ぬ仲間との出会いを切に望んでいます。

令和6年度総会 校友29人が結束誓う

令和6年度総会は6月23日(日)、富山市のパレプラン高志会館で開かれ、校友29人が出席しました。森川芳一支部長が開会のあいさつを行い、議事では事業報告、収支報告、監査報告、事業計画、予算の各議案が承認されました。続いて社会保険労務士で調停委員の前多悟さん(昭和52年経営)が「働き方改革」とこれから…」と題して講演しました。その後、ゲストの増田和浩石川県支部長と浦水会富山県支部の亀田隆夫支部長と嶋田晋次期支部長を交えて懇親会を行いました。歓談の途中には出席者全員が近況を報告し、母校への思いと校友の絆を再確認し、結束を誓いました。



講演する前多悟さん

演題 「働き方改革」とこれから…」
講師 前多 悟氏(昭和52年経営)

○…「働き方」は、私たちの生活において重要な要素であり、特に現代社会では急速な変化が起きている。新しいテクノロジーの導入やグローバル化の進展によって、働き方に求められるものが大きく変化しており、柔軟性への適応や創造性などが重要となり、従来の働き方とは異なる新たなスキルが問われています。

○…実はこの文は、生成AI(人工知能)の「Chat GPT」に「今後の働き方についての講演会でのあいさつ」と入力して作ったものです。そんな時代になっています。こういう進化があると、我々の働き方にもずいぶん影響が出てきます。2045年ごろに「シンギュラリティ(技術的特異点)」という時代の到来が予想されています。「AIの知性が地球上の全人類の知性を超える時点」の意味で使われています。多くの職業が変化または消滅する可能性があります。

○…働き方改革は、働く方々が個々の事情に応じた多様で柔軟な働き方を自分で選択できるようにするための改革です。日本の労働生産性の低さや、長時間労働の問題、そして少子高齢化による労働力不足などの課題に対応するためにも働き方改革が必要です。

○…ICTの進展で私たち社会保険労務士の仕事もかなり狭められます。しかし歴史を見ると、狭められた分、どこかでまた

新しい職務あるいは職業ができてきます。いわゆる労働移動が起き、技術的失業というものは、どこかに吸収されるとされます。

○…例えば農業に関しては「スマート農業」です。農業機械がGPSを搭載して高度になれば、自宅から操作すれば勝手に機械が作業場へ行つて農作業をします。これが政府が提唱するSociety 5.0の時代と言われます。

○…シニア世代を生かす働き方については、65歳までの雇用義務化や70歳までの就業機会の確保努力義務など、法制度の変更があります。リカレント教育を支援する制度として受講費用の一部が支給される教育訓練給付金制度があります。60歳を過ぎる



と体力や気力がなくなる方がいる一方、70歳になっても充実している人もいて個体差が出てきます。永年にわたって培った技術の後輩や後継者に繋ぐ必要があれば、その技術に限って嘱託社員という形で再雇用するというやり方も企業にはあると思います。



思いを込めて校歌を斉唱



乾杯の発声は伊藤政博前支部長

校友4人就活体験語る 雨水会就職セミナー

東洋大学雨水会富山県支部の「2024就職セミナー」が3月3日(日)、富山市の婦ふれあい館で開かれました。今回は当時の亀田隆夫支部長からの依頼で校友会員4人が参加し、学生の保護者を前に自身の学生生活や就職活動体験を語りました。情報交換会も開かれ、校友と雨水会員がリラックスした雰囲気の中で意見を交わしました。

はじめに亀田支部長が「今回はUターン就職を考える企画にした。学生は富山の情報を得にくく、親御さんからの話は有益なものになると思う」と、趣旨を説明しました。続いて校友会の森川支部長が「校友の話参考にお子さんがUターンして、私たちと関わり合えることを期待している」とあいさつしました。続いて校友会員4人が約15分ずつ発表を行いました。



あいさつする森川支部長。
約20人の雨水会員が集まった

江尻陸也さん(令和2年国際経済)

株式会社富山第一銀行



「就職活動を始めたのは大学3年の夏です。半年ほどカナダに留学して帰国直後に富山第一銀行が5日間のインターンシップを行うと知り、荒療治のつもりで参加したのがきっかけです。保護者からは富山の企業の説明会やインターンシップの情報提供があればありがたいと思います。現在は黒部支店で法人営業を担当しています。企業の社長さんと直接話をするので面食らうこともありですが、顧客の理解に努めて課題解決方法を提案し納得してもらえた時は、すごくやりがいを感じます」

廣田安正さん(平成30年健康栄養)

株式会社NanNaru



「群馬県の板倉キヤンパスにあった食環境科学部を卒業しました。管理栄養士資格を取得し

食品会社に就職しましたが、WEB制作会社に転職しホームページや動画制作を行っています。Uターンしたのは都会と田舎を比べた時に都会のデメリットが大きいと感じたからです。しかし就職は人生の分岐点ですし、選択肢に幅を持たせることも大事だと伝えたいです。就職支援室は面接の練習やエントリーシートの添削に役立ちましたが、自己PRの推敲はしつかりとやるべきだったと思います」

川原卓也さん(平成25年総合情報)

株式会社セキノ興産



「4年間、陸上競技部長距離部門に所属しました。実業団に推薦してもらえなかった。周囲と同じ大学3年の12月から就職活動を始めました。特に業種は決まらず、面接では必ず『御社の社名が書かれたユニフォームを着て走りたい』と言っていました。現在の会社からは4年の7月に内定を得ました。親御さんをお願いしたいのは、お子さんの就職に対する思いを理解することです。決して考えを否定せず、そつと助言してください。東洋大での経験は富山では強みになりますから」

中山 昌さん(平成26年企業法)

学校法人荒井学園 高岡向陵高等学校



「一般企業への就職も考えましたが、富山の相撲の指導者が高齢化しているという現状がありました。自分に

しかできないことは相撲の指導だと思い、教員を目指しました。公務員である私の両親は県立高校の教諭にと願っていましたが、私は確実に相撲部を教えられる母校の高岡向陵高校の採用試験を受けました。両親も私の思いをくんでくれました。保護者の皆さんには、お子さんが納得のいく人生を送れるようにサポートしてほしいです。転職することも決して失敗ではないと思います」

4人の発表に続いて、校友会会計で富山第一銀行の小竹裕貴さん(平成21年経済)が、自身の勤務先の業務内容や採用情報などを説明しました。銀行業務の変化、人材育成への取り組み、ワークライフバランスの推進などについても語り、富山の金融業界で働く醍醐味をアピールしました。

地方の校友会支部の存続や活性化には学生のUターンが欠かせません。今後も雨水会との連携を深めていきたいと考えています。



本音の話が弾んだ情報交換会

日本学生陸上個人400mで優勝 山本領心さん(総合情報2年)凱旋

6月に神奈川県で行われた日本学生陸上競技個人選手権男子400メートルで、富山市出身の山本領心(やまもと うれいしん)さん(総合情報2年)が46秒64で優勝しました。けがに苦しんだ1年時からの復活を果たし、東京で開かれる世界陸上出場を目標に掲げています。7月に県民体育大会出場のため富山に戻った山本さんに、大学での競技生活を尋ねました。



県優勝の賞状を手にする山本さん
県総で走るのは5年ぶり

—400mで大学日本一になった。
今後はどの距離で戦うのか
呉羽中学校時代からずっと200mでしたが、1年時は肉離れが相次いで試合に出られませんでした。そこで監督と相談して脚への瞬間的な負荷が少ない400mを試しました。学生個人で優勝しましたが、400mは6月の日本選手権(予選4着で敗退)までにして、本来の200mに戻します。

—日本学生個人優勝、おめでとうございます。
県体に出場した理由は

国民スポーツ大会(旧国体)出場選考のためです。洛南高校時代に京都府から出場したことはありますが、富山県の選手として出たことはないの、地元に戻ってきればと思っています。

—きょうのレース(成年男子3000m優勝、富山県記録・大会記録)を振り返って

予選(32秒95)はいい線いったと思って、決勝は32秒7くらいを狙いましたが、程遠いタイム(33秒10)になりました。最後の100mが課題で実力不足です。

—京都の洛南高校に進んだ理由は
県外の高校には行かないと思っていましたが熱心に声を掛けていただいて、先生もわざわざ京都から来られました。練習を体験しに行ったら結構自由な感じで、自分合っているなと思って入学を決めました。

—東洋大学陸上短距離部門のレベルは
ものすごく高いです。柳田大輝さん(1000m)と小川大輝さん(400mハードル)という日本代表がいますし、パリ五輪に出場するOBも練習に来ます。ありがたい環境でやらせてもらっています。

—チームメイト
や先輩がパリで走る。
どんな思い
で観戦を
自分が出られ
なかったのは
悔しいですが、
先輩方には頑
張って欲しいで
す。4×400
mリレーに出場
するOBの吉津拓歩さん(ジューケーライン)
とはよく一緒に練習していますので。



県体陸上成年男子300mを制した山本さん

—2025年は東京で世界陸上が開かれる
日本代表になって200mで出場するのが
目標です。高校から富山を離れていますが、
自分を育ててくれた場所ですし、お世話に
なった方もたくさんいます。これからも頑張
りますので、応援よろしくお願いします。



予選後、「富山県記録」と
表示されたスクリーンを
見つめる山本さん



toyo.tu

県体後の山本さん

活躍が期待された秋シーズンでしたが、肉離れが再発し日本インカレを欠場。佐賀県で開かれた国民スポーツ大会も富山県選手団に選ばれましたが、欠場となりました。東京で世界陸上が開かれる2025年の飛躍を校友会富山県支部一同、期待しています。

活躍を見逃すな!

富山出身「鉄紺アスリート」

山本領心さんの他にも富山県出身のアスリートは体育会各部で活躍しています。一部の選手を紹介します。

■陸上競技部女子長距離部門

富山県出身では中才菜子さんと寺松歩穂さんの3年生2人が所属し、チームの主力として活躍しています。10月5日(土)の第30回関東大学女子駅伝(千葉県・6区・21チーム)では中才さんが3区で6位、寺松さんが最終6区で10位と健闘し、チームの10位に貢献しました。10月27日(日)の第42回全日本大学女子駅伝(宮城県・6区・26チーム)では寺松さんが3区で19位、中才さんが5区で15位となりチームは16位でした。次は12月30日(月)の富士山女子駅伝(静岡県・7区・24チーム)です。テレビ中継もありますので、「鉄紺女子」の力走を画面越しに応援しましょう。

中才菜子(なかさい まこ)さん

富山県出身では中才菜子さんと寺松歩穂さんの3年生2人が所属し、チームの主力として活躍しています。10月5日(土)の第30回関東大学女子駅伝(千葉県・6区・21チーム)では中才さんが3区で6位、寺松さんが最終6区で10位と健闘し、チームの10位に貢献しました。10月27日(日)の第42回全日本大学女子駅伝(宮城県・6区・26チーム)では寺松さんが3区で19位、中才さんが5区で15位となりチームは16位でした。次は12月30日(月)の富士山女子駅伝(静岡県・7区・24チーム)です。テレビ中継もありますので、「鉄紺女子」の力走を画面越しに応援しましょう。

中才菜子(なかさい まこ)さん

寺松歩穂(てらまつ あゆほ)さん

富山県出身では中才菜子さんと寺松歩穂さんの3年生2人が所属し、チームの主力として活躍しています。10月5日(土)の第30回関東大学女子駅伝(千葉県・6区・21チーム)では中才さんが3区で6位、寺松さんが最終6区で10位と健闘し、チームの10位に貢献しました。10月27日(日)の第42回全日本大学女子駅伝(宮城県・6区・26チーム)では寺松さんが3区で19位、中才さんが5区で15位となりチームは16位でした。次は12月30日(月)の富士山女子駅伝(静岡県・7区・24チーム)です。テレビ中継もありますので、「鉄紺女子」の力走を画面越しに応援しましょう。



「鉄紺女子」の主力、
中才さん(右)と寺松さん



toyo.tetsukonwomen

高岡向陵相撲部から3人本学へ 全国Vの五十嵐さんら激励

全国大会で活躍した高岡向陵高校相撲部と、2023年5月の全国高校相撲金沢大会個人で優勝した主将の五十嵐翔さん(3年)をたたえる健闘祝賀会が2月25日(日)、高岡市の射水神社で開かれました。五十嵐さんら3人が本学に進学することから、森川芳一支部長と清見昇事務局長が出席し激励しました。

3人の激励は当初、校友会の「新年のつどい」に招いて行う予定でしたが、能登半島地震の影響で中止となったため、高岡市相撲連盟の高畑務理事長(昭和55年法律)の提案で同連盟が開く健闘祝賀会に出席する形となりました。

会には部員を含め約60人が出席。同連盟の山本徹会長や来賓のあいさつに続いて、五十嵐さん、平河ジェイキさん、池永貴博さんに森川支部長が「東洋大でも活躍されることを期待しています」と激励し、記念品を手渡しました。

同部の中山昌監督(平成26年企業法)は「富山の相撲が日本一だと証明したい思いでやってきました。団体日本一を目指して今後も精進します」とあいさつしました。五十嵐さんは「大学で人間としても成長し、1年生からレギュラーを目指して頑張ります」と誓いました。平河さんは「人間性を学び、インカレで団体、個人ともに優勝を目指します」、池永さんは「大学ではもっと大きく強くなつて、団体メンバーに入れるよう頑張ります」と決意を述べました。



前列左から中山監督、森川支部長、平河さん、池永さん、五十嵐さん

相撲部で奮闘中 3人から近況

中山昌さんを通じて10月下旬、3人から近況と写真が寄せられました。

五十嵐翔(いがらし・しょう)さん

インカレ優勝目指して死に物狂いで稽古に取り組んでいます。必ず優勝し、様々な方に恩返ししたいです。

平河ジェイキ(ひらかわ・じえいき)さん

インカレメンバー入りはかないませんでしたが、新たな目標にむけ、稽古に精進します。

池永貴博(いけなが・たかひろ)さん

学業と相撲に全力で励んでいます。今は団体メンバーに入ることを目標に頑張っています。日本一目指して頑張ります。



左から平河さん、池永さん、五十嵐さん



dosukoi_toyo

■体育会ラグビー部

関東大学リーグ1部でのぎを削っています。部のホームページ(<https://toyorugby.com/>)も充実しています。ぜひご覧ください。

土田修也(つちだしゅうや)さん
総合情報学部4年

般若中一岐阜聖徳学園(岐阜県)

「大学選手権優勝を目指して、日々練習を行っています」



亀田翔蔵(かめだかける)さん
健康スポーツ科学部2年
庄西中一桐生第一(群馬県)

「日本一目指して頑張っています」



toyorugby

雑感 日々思うこと

堀田 良一（昭和37年経済）



早いもので、来年の1月8日、わが誕生日を迎えると満85歳になる。足腰は多少弱くなったが歩ける。立派な高齢者である。

最近ショックだったのは、高校時代の旧友が急死したことだ。とにかくびつくりした。川柳が好きで、全国紙に投稿し、入選すると掲載紙を切り抜いてはがきに貼りつけ近況を知らせてくる。お互いに元氣なことを知り、喜びあっていた。葬儀に参列したが、双子の息子さんがそっくりで、立派に成長されていてほっとした。でも、もうはがきが届かないと思うと、悲しみが改めてこみあげてきた。合掌。

話は変わるが、最近あった衆議院議員選挙で、電話アンケートが複数回自宅にかかってきた。これにもびつくりしたが、「選挙に興味があるか?」「支持政党は?」「意中の候補者は?」など次々に聞かれ、あつという間に終わった。いいかげんに答えようかと思ったが、正直に本音で答えていた。

ついでに私が北日本新聞社に勤めていたとき、政経部で同じようなアンケートをしていたことを思い出した。当時は大学生などのアルバイトを使い、2日間で13人ほどを対象に各家庭を戸別訪問して聞いてくる、という形式のものであったが、

驚いたことに、中には実際には訪問もせず、全部自分で勝手に回答を書いて提出してくる「猛者」もいた。様子がおかしいので、アンケートした相手の服装などを細かく聞いただと、しどろもどろになつてすぐに発覚。懐かしう思い出した。悪いことはできないものだ。



久しぶりの参加となった総会後の懇親会で近況を報告する堀田さん

過去を振り返って

種谷美智子（昭和38年英米文）



日々の経るのは早いもので、私も84歳を迎えています。昭和34年高校を卒業しましたが、3年生の時、大学へ行きたい、行くなら東京へ、将来は何をしようかと迷いました。英語が好きだった私は、英語の教師への夢が広がり目指すことに決めました。そして東洋大学文学部英米文学科に進み、富山と縁のある吉川美夫先生や赤松英夫先生の薫陶を受け、4年間励みました。

当時、学生寮（女子）は練馬にあり、一部屋二名の六畳、沖縄（当時1ドル300円）からの彼女との生活でした。共に貧乏学生でしたが、今も交流が続いています。

昭和38年中学校の英語教師になりました。当時は書く・読む英語が中心で、「話す・聞く」英語はほど遠かったように思います。修学旅行の時、生徒から話して、聞いてとせがまれた苦い体験をしました。その後、ペンシルベニア（アメリカ）大学の夏期研修に参加し、寮生活、大学生とのスポーツ交流を通してコミュニケーション術を学びました。その後中学生との海外研修でノースカロライナ州（アメリカ）に引率しホームステイ・学校訪問を体験しました。これらの体験から自ら働きかけなければ会話・コミュニケーションができないと痛感しました。その後、中学校の英語教師ALTとの授業をしながら38年間の教師生

活を終えました。

学生時代から茶道を学んでいて、茶道を通して「英語でお茶を」の日本文化交流を始めました。ドイツ、イギリス、イタリア、フィンランド、シンガポール、アイルランド、台湾の方々と楽しく交流ができました。現在は小学生、幼稚園児、高校生に、茶道と交わり日本文化を通して未来に羽ばたいてほしいものと、自分に鞭打っています。

一期一会 ONE CHANCE ONE ENCOUNTER と思っています。



子どもたちの未来に思いを馳せ茶道でご活躍の種谷さん

呉西会

7月20日(土)

県西部にゆかりのある校友でつくる呉西会は7月20日(土)、高岡マントンホテル駅前内「Casual Dining Bon」で懇親会を開催し、昭和36年卒から平成26年卒の校友23名が集いました。

新会長の高畑務さん(昭和55年法律)のあいさつに続き、新幹事となった5名を紹介した後に懇親会は開会しました。参加者の中には、はじめての方、久しぶりの方もいらして、和やかな中にも、大変賑やかに活発な交流が行われました。

懇談の途中には全員の近況報告がありました。相撲部OB 中山昌さん(平成26年企業法)は自身の教え子も在籍している同部の活動を報告し、陸上部OB 川原卓也さん(平成25年総合情報)は酒井俊幸長距離部門監督の駅伝シーズンに向けてのメッセージを披露しました。学生たちの活躍は私たち校友にとっても嬉しいもので、こういった明るい話題が会に華を添えてくれました。

新会長体制となつてはじめての開催となりました。至らないうところもあったかもしれませんが、みなさん楽しかったと言ってお帰りました。これからの呉西会も「楽しかった」「来て良かった」と言ってもらえるよう、幹事一同協力し取り組んでいきます。



全員で校歌を斉唱



観想の華は体育会出身者と支部長で肩を組んで

レディース会

10月5日(土)

10月5日(土)、今年もレディース会が開催されました。参加者8名、一行は「吉田はん(家)見学」→「ランチ会」→「ブドウ摘みの日程で各所を巡りました。

射水市大門地区の「吉田家」は幕末から近代にかけて財をなした旧家で、地域からは「吉田はん」と呼ばれ親しまれており、国登録有形文化財に登録されています。この貴重な文化財の保存、活用に取り組んでおられる、(社)吉田はん 理事 渡辺國臣さん(昭和42年土木工)に案内していただきました。主屋、二つの蔵、堀、窓の千本格子、天井、柱に至るまでのすべてが当時の最高級の材料と技術で建築され、格調高い、大変立派な旧家を見学しました。

ランチ会場へ向かう途中、母校名が刻まれた石碑に立ち寄りしました。磯村英一元学長が、牛塚虎太郎(射水市名誉市民)碑に揮毫したものです。みんな大学時代の思い出話をしながら見学しました。

ランチ後は「やまふじぶどう園」に移動しブドウ摘みです。粒の大きさを確かめながら思い思いのブドウを摘みました。売店にはぶどう園特製のワインも置いてあり、ワイン通の玉森陽子さん(平成9年経営)からワインを選ぶポイントを聞いて、お土産に購入された方もいました。これで全日程が終了し、ぶどう園で解散となりました。

ご参加くださった皆さんのご協力のおかげで、今年も無事に終えることができました。ありがとうございました。レディース会とはとてもカジュアルな会です。はじめての方も、久しぶりの方もぜひご参加下さい。次回も楽しい企画を予定しています。

(縄井恵美)



吉田家で当主と一緒に「吉田はん」前で



おいしいブドウをたくさん摘みました

新川会

2023年11月17日(金)
2024年11月16日(土)

新川地区ゆかりの校友の集まり新川会にも多くの仲間が参加してくださいませ。毎回飲んで食べてまた飲んで、ホントに楽しい時間を過ごしています。

新たにご参加くださる方、大歓迎です！お待ちしております。



2023年の集合写真



2024年の集合写真

東洋大学校友会HP
富山県支部ブログ



【レディース会お問い合わせ】

東洋大学富山県支部
縄井 恵美(平成2年短英文)
☎090-1396-3762

白山会ゴルフコンペ

第69回 9月17日(火) 太閤山カントリークラブ **優勝** 大野 政治 (平成10年建築)

第28回東都大学OB交歓ゴルフ大会

団体戦は4位 大野政治さん2年連続の2位

第28回東都大学OB交歓ゴルフ大会は10月12日(土)、富山カントリークラブで行われました。東洋大は団体戦(各コース上位2人、計6人のネット合計)で7チーム中4位となりました。中央大が2年ぶりの優勝を果たしました。

大会には7大学の卒業生計80人が参加し、18ホールストロークプレーで競いました。東洋大は11人が参加し、個人戦では大野政治さん(平成10年建築)が神通一薬師コースで2年連続の2位となったほか、大阪府支部から参加の平岡外喜子さん(昭和37年経済)が薬師一有磯コースで6位など4人が10位以内に入りました。欠場メンバーも加え、当日夜に富山駅前で行った反省会は大いに盛り上がりしました。

2008年の第12回以来遠ざかっている団体戦優勝に向けて、ゴルフ好きな校友有志の参加を心待ちにしています。



団体戦4位の東洋大メンバー

令和6年 支部支援会費 納入者芳名

自主財源確保に向けた支部支援会費を納入いただいた方々です。

高橋 浩三(昭和35年経営)	高木 保二(昭和36年経済)	笹谷 伸雄(昭和37年経済)	堀田 良一(昭和37年経済)
日南田葉子(昭和39年史)	渡辺 國臣(昭和42年土木工)	金田 安夫(昭和43年法律)	杉田 欣次(昭和44年法律)
湊 信雄(昭和45年法律)	藤田 良久(昭和45年社会)	青島 清司(昭和45年機械工)	大野 和彌(昭和45年機械工)
明石 大洋(昭和46年経営)	南日 莞爾(昭和46年経営法)	山尾 友一(昭和49年法律)	本庄 恵子(昭和52年英米文)
前多 悟(昭和52年経営)	小島 伸也(昭和52年応用社会)	本江真祐美(昭和53年経営)	藤縄 耕一(昭和54年商)
本田 均(昭和55年商)	白岩美津子(昭和56年国文)	柴田 哲人(昭和58年経済)	福島 鉄雄(昭和58年経済)
伊藤 政博(昭和59年経済)	稲場 卓郎(昭和59年経済)	竹中 栄治(昭和60年経済)	志村 慧雲(昭和60年経済)
鞍田 千雪(昭和60年応用社会)	丸田 勝文(昭和61年土木工)	森川 芳一(昭和63年法律)	清見 昇(平成4年応用社会)
中 俊之(平成5年経営法)	柴田 清成(平成7年経済)	井藤 昌俊(平成15年法律)	小竹 裕貴(平成21年経済)

(卒業年順、敬称略)

令和7年の支部支援会費の納入もお願いしております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

「新年のつどい」ご案内

恒例の「新年のつどい」を行います。皆様、ふるってご参加ください。懐かしい思い出と共に旧交を温め合いましょう。

- 日 時：令和7年1月12日(日) 12:00～
- ところ：我家的厨房Big5(富山市新富町1-4-1 51ビル)
- 参加費：男性6,000円 女性4,000円

※令和6年3月卒の校友は無料

📞 お問い合わせは事務局まで



事務局では「黎明」に掲載する原稿を募集しています。
事務局までお気軽にお寄せ下さい。お待ちしております。

事務局 森川 芳一 〒930-0221 立山町前沢994-8
☎076-463-5681
清見 昇 〒932-0045 小矢部市中央町2-23
☎0766-67-5506
小竹 裕貴 〒931-8314 富山市栗島町2丁目3-28-5
☎076-460-3623

題字によせて

「観想の華」の二番に「護国愛理の金字塔 不滅の城の王者なる 時黎明の鐘なれば……」とあります。「黎明」には夜明け、物事の始まりという意があり、富山県支部会も新たに再出発しようという心意気を表しました。

揮毫は齋藤芳攝氏。